

一般社団法人 日本薬学教育学会 第4回理事会 議事録

開催日時：令和4年2月28日（月）15：00～17：20

開催場所：WEB会議システム（ZOOM）による開催

<https://us02web.zoom.us/j/85079433253?pwd=MGtYSkM1anN6TnBrUWE0cUUrNzR4dz09>

理事：乾 賢一、中村明弘、有田悦子、石川さと子、入江徹美、奥田真弘、木内祐二、
小佐野博史、鈴木 匡、高橋一栄、武田香陽子、長谷川洋一、安原 智久

<欠席>：亀井美和子、永田泰造、西口工司

監事：林 正弘、吉富博則

事務局：斎藤 渉、村上 聡

議事：

定款第35条第2項に基づき、議事録には乾理事長と林監事、吉富監事が署名又は記名押印することが確認された。

1. 前回（2021年度第3回）理事会議事録案について（承認事項）

中村理事より議事録（案）に基づいて前回理事会の議事内容が報告され、一部修正の上で議事録として承認された。

2. 総会および理事会の議事録等のホームページでの公表について（協議・承認事項）

法人の情報公開の観点から社員総会および理事会の議事録のホームページでの公表について協議した。学会支援機構の村上代表理事からは、本学会が作成している現在の議事録は十分に公開可能であるとの助言を得た。法人化後の社員総会と理事会の議事録を公開することとし、対象となる議事録を事務局で集約し、公開に向けて改めて理事で内容確認を行うこととした。今後については理事会で前回議事録を確認し、公開用には必要に応じて編集したものをホームページに掲載することとした。なお、議事録のホームページ掲載費用は2万円程度となる。

3. 役員選挙の実施について（協議事項・承認事項・報告事項）

乾理事長より、役員・理事長等選任細則第2条に基づき、個人会員から安原眞人氏、灘井雅行氏、伊東明彦氏の3名を選挙管理委員として選任することが提案され承認された。委員を委嘱した上で、選挙管理委員会が役員選挙の管理を行う。

事務局より理事・監事候補者選挙の公示に関するホームページ（選挙要領）案が提示され承認された。選挙権者は586名、うち被選挙権者は476名で、理事・監事立候補届の受付期日は3月31日必着とし、投票期間は5月11日（水）～6月10日（金）とする。

4. 2021年度学会賞（教育研究奨励賞・教育実践奨励賞）の募集について（協議事項）

安原理事より2021年度学会賞の募集結果（2月21日締切）が報告された。教育研究奨励賞に5名、教育実践奨励賞の大学卒に1名（臨床卒はなし）の応募があった。機関会員からの推薦については、学部長名で可とすることが確認された。今後、審査員による選考を開始し、学会賞選考委員会において候補者を選出して次回理事会にて受賞者を決定することとした。

5. 中長期ビジョンワーキンググループ中間報告（報告事項）

入江理事より中長期ビジョンワーキンググループ（以下、WG）における検討内容が資料に基づいて報告された。2月から4回にわたって検討を行っており、本学会のミッション・ビジョンの方向性が3つのベクトル（「薬学各領域との連携に基づく教育手法の改善・充実・普及」、「薬学教育を対象とした研究の発展」、「教育の世界水準の追求」）に集約されてきたことが報告された。今後は本活動に参画する会員を募り、2023年開催の第8回大会での報告を目指して活動を継続する。

6. 第7回大会準備状況報告（報告事項）

有田理事より大会ホームページに基づいて準備状況および各シンポジウムの概要が報告された。ワークショップは7件の申し込みがあり、受付を終了した。一般演題の登録受付準備を進めており、締切は6月3日頃を予定している。北里大学白金キャンパスでの現地開催を予定していたが、現在の新型コロナウイルスの感染拡大状況では対面開催は困難である。近日中に開催方法をオンラインに変更するか決定する予定である。多職種連携教育をテーマとしたシンポジウムを通じて、日本保健医療福祉連携教育学会および日本医学教育学会と連携が図られる予定であることが木内理事と石川理事から紹介された。

7. 第8回大会準備状況報告（報告事項）

入江理事より第8回大会の準備状況が報告された。組織委員会は九州・山口地区の大学、病院、薬局からの委員で構成し、できれば熊本大学薬学部のキャンパスで対面で開催したい。

8. 委員会報告（報告事項）

・編集委員会報告

編集委員長の入江理事より1月末に第5巻の冊子体を発行したことが報告された。投稿論文の審査については、査読者の推薦制度を導入してからスムーズになっている。

・薬学実務実習委員会報告

鈴木理事より「薬学実務実習のレベルアップを目指すワークショップ」の準備状況が報告された。開催日時は3月26日（土）13:00～17:00、参加申込は32名（臨床系教員と指導薬剤師）で、ZOOMを用いてオンライン開催とする。

・倫理委員会報告

有田理事より第7回大会において学生が実務実習で出会う倫理的なケースについて考えるワークショップを企画していることが報告された。

・国際化委員会報告

武田理事より資料に基づいて3回の委員会で検討した次年度の活動計画の概要が報告された。

9. 担当理事報告（報告事項）

・連携担当

高橋理事より第7回日本薬学教育学会大会および第32回日本医療薬学会年會において企画しているシンポジウムが資料に基づいて紹介された。他の医療系教育学会とシン

ポジウムの共催を進めていく予定である。

- ・ 広報担当報告

石川理事より学会賞と第7回大会開催についてFacebookをアップデートしたことが報告された。学会ホームページに社員総会・理事会の議事録および委員会活動を紹介するページを新設する準備を進めており、掲載原稿について確認の依頼がなされた。

10. 理事長報告（報告事項）

- ・ 機関会員入会勧誘の活動について

乾理事長より、本学会の活動がオール薬学での取組として国公立すべての大学が機関会員となることを目指し、未入会の大学には2月に学会誌「薬学教育」と依頼文書を送付して入会の働きかけ継続することが報告された。

- ・ Asian Association of Schools of Pharmacy (AASP) の活動について

乾理事長より、本年1月からAASPのpresidentを務めていることが紹介された。AASPとは6年間にわたって関わるようになっており、2年が経過していることが報告された。本年は7月29-31日にマレーシアにおいて“The 10th AASP Conference 2022”がWEB開催される。

11. 会員登録状況報告（報告事項）

事務局から資料に基づいて2月21日時点の会員登録状況（計813名）と会費納入率（88.4%）が報告された。

12. その他

- ・ 令和3年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業）で実施される公開シンポジウム「地域における効果的な薬剤師確保の取組に関する調査研究」（令和4年2月27日（日）13時～16時）の後援依頼を承諾したことが報告された。
- ・ 安原理事よりコロナ禍で開催できていなかった「教育コンピテンシーの全国測定に関する研究会」を第7回大会の前日に開催することを検討中であることが報告された。

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2022年4月28日

一般社団法人 日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 林 正弘

監 事 吉富博則